

# センターだより

第92号

2026.01.01

## 年頭のご挨拶

代表理事組合長

松田 登貴也



新年明けましておめでとうございます。皆様方には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気が緩やかな回復を続けています。

花き産業におきましては、物価の上昇が継続していることで消費者マインドの悪化が進み、個人消費の伸びに影響をもたらす状況となり、中でも花きの消費は、消費者の花離れやライフスタイルの変化、生産者の高齢化により、減少傾向にあります。

当組合といたしましては、このような状況の中に、提供サービスの合理化を図り、利用価値の高い市場を目指していく。

・消費者ニーズに合った商品の提案を行うとともに、良品集荷の確保に努めて、売上増を図る。

・市場間連携を強化し、買参人及び生産者の利便性を高めるとともに販路拡大に努めていく。

・WEB販売をより一層推進するとともに先取販売の強化に取り組み、セリにおける有利販売を目指す。

・買参人対策の強化に努める。

以上について取り組みを進めてまいりました。具体的には、2月・8月に『多肉植物即売会及び資材展示会』を開催したほか、10月に『資材のマルシェ』・『季節の移ろいを感じる鉢花フェア』を開催。花き関係者に、新商品の提案・販売を行っています。

又、県の委託事業で、地域特産花木の商品開発に取り組んでおり、宇陀のモミジ・カエデの商品化に取り組んでいます。8月に奈良公園バスターミナルで開催された『奈良来てマルシェ!』に出展して、モミジのミニ盆栽を販売している他、11月に『cofunia秋の文化祭』に参加して、『ミニ盆栽ワークショップ』を開催しています。

次に、花きの消費啓発につきましては、4月8日の東大寺「花まつり」に（一社）日本花き生産協会のご協力のもと、全国より約6,000本の花を提供いただき、奈良県フラワー装飾技能士会に創作協力をいただき、献花させて頂きました。また10月に橿原神宮において「第17回大路花と緑のフェスティバル」を県及び関係団体と共催で開催し、「プチガーデンング&フラワーデザインコンテスト」や、児童を対象とした「花といっしょに遊ぼう」（花育教室）を行いました。

最後になりましたが、組合員皆様方の変わらぬご指導ご協力をお願い申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭のご挨拶

専務理事

吉川 隆憲

新年あけましておめでとうございます。令和8年の年明けにあたりましてご挨拶を申し上げます。政局に限らず、花き業界も激動の年を迎えることになり、当組合も大変厳しい年明けを迎えます。生産者、買参人の皆さまをはじめ、組合員の皆さまの為に役員、職員が総力を尽くして努力してまいる所存であります。

とはいえ、自然の猛威に全国の産地、買参人の皆さま方も真夏の高温対策に苦慮されています。

又、輸送におきましても、2024年問題が大きく影響しています。遠隔地の商品が届きにくくなり、中継ぎを余儀なくされることで遅延等による荷傷みの発生が懸念されています。その対策として、施設の充実、輸送車両の改良等、それぞれの分野で取り組まなければならないことが山積まれています。

更に生産地の皆さまにおかれましては、暑さ対策もさることながら、より近代的な温度管理を達成する為の農業支援、買参人の皆さまの販売環境の改善が急がれます。

消費者の生活環境の変化もあり、花き業界は苦戦を強いられています。新しい年を迎え、国民の意識の変革が期待されています。

豊かなゆとりある生活を取り戻す年になりますよう、役員一同、誠心誠意努力してまいります。関係各位の皆さま方におかれましては、なお一層のご支援、ご協力を賜ります様、心よりお願いし、又、皆さま方の健康とご多幸をお祈り致しまして、年始のご挨拶とさせていただきます。

## 鉢花情報

組合員をはじめ、買参人、生産者の皆さま、日頃より当組合をご利用いただき誠に有難うございます。

さて昨年の市場動向ではありますが、それでも良く売れていたという事もありませんが、5月の母の日以降、特に流れが悪くなった様な気がします。

消費者は、個人の収入も上らず物価が上がるばかりで、生活するのに必死で花を買う余裕はないようです。

道の駅やホームセンター等の複合店は、花の販売は比較的ましな状況ですが、植物のみの専門店が苦戦を強いられています。

又、気候にも原因はあります。昨年の梅雨明けは最も早く6月29日で、それからは雨は降らず、気温は連日のように30度越えでした。テレビでは連日、「熱中症予防のため、日中は家の外に出ない事」と繰り返し報道されました。昼を過ぎた頃から特に高温になり、消費者は外出が厳しい状況でした。

そしていつまでも続く残暑で、自宅の庭のキンモクセイも一カ月遅れで11月に入って咲き始め、まさに異常気象という状況でした。

花を売る市場や店も大変ですが、昨年の猛暑を乗り越えて、秋・冬出しの商品を作っている生産者におかれましては、花芽がつかない、花芽はついたが咲かない、株が肥らない、暑さで株が消えていく、出荷しても単価は安い、更に生産資材の高騰も止まらないという、マイナスの連鎖で大変ご苦労をされています。

ただこの暑さの影響で、台風が来なかった事だけは幸いかもしれません。しかし11月以降は、ようやく暑さもなくなり、気候も秋めいて大きな天気の流れもなく、多少の相場の上がり下がりはありませんでしたが、シクラメン、ポインセチア、パンジー、ビオラ、葉牡丹等の秋・冬商品もまずまずの相場で取引されていました。担当といったしましても、何とかこの流れのまま、年度末には買参人、生産者の皆さまと共に笑える様、全力で努めてまいります。

第二営業課課長 東川 正彦

## 切花情報

新年あけましておめでとうございます。平素は当組合に格別のお引き立てを賜り、誠に有難うございます。本年も変わらぬご愛顧を戴きますようお願い申し上げます。

昨年の切花業界につきましては、前年度より引き続き人件費及び燃料代の高騰のあおりを受けて、大幅な物量の減少が見られました。同一産地内での冬春ものの品種から夏秋ものの品種への切り替えに大きな切れ目があり、産地の切り替え時期も、切れ目と品切れ欠品に振り回される一年となりました。

当組合では昨年7月より大阪鶴見花き地方卸売市場との連携サービスを開始する事になりました。これは登録された買参人様がJF鶴見花き様となにわ花いちば様で購入された商品を、当組合の切花運送便にて回収し、当組合集荷場にてお引き渡しする仕組みです。両市場様としては車の乗り入れを制限でき、買参人様としては近くで取引ができ、時間間帯とはいえ、引取りに關しての人員費と交通費を削減できると見込まれます。前日のセリで手配できなかったものを先取りして帰ることが可能になり、このサービスをご利用されている買参人様は3市場の商品群から手配が可能になります。

又、今年春からは、西日本花きが鶴見市場に参入されます。近畿圏では3市場が同一場所・同一システムで販売をする事になり、商品と買参人様が更に集まる事になります。この取り組みが近畿圏の切花市場にどの様な影響を与えるかは未知数です。この変化を受けて、どう取り組めば買参人様と出荷者様に喜ばれるのかを常に考えつつ、対応していきたいと考えています。

本年が皆様にとって良い年となるようお祈り申し上げますとともに、新年のご挨拶とさせていただきます。

第一営業課 坂田 三和

## 組合員のみなさまへ

組合員の登録内容に変更のある場合は、地区の役員にご相談ください。

## 植木情報 令和8年主要行事予定

### 植木情報

新年あけましておめでとうございます。  
平素は当組合をご愛顧いただきありがとうございます。

昨年の市況ですが、全体的には前年のセリと比較をすれば、買参人様の引き合いはあったように思います。中高木につきましては、良品は動きは活発に引合いがあった状況でした。

常緑ヤマボウシ株立、ソヨゴ株立、オリブ、アオダモ、ハイノキ他H2・0・2・5の株立の引合いが目立っていました。

ここ数年、アオダモ株立が各市場高値で取引されていることもあって、前半のセリ状況については、イロハモミジ株立、ヤマモミジ株立、ジュンペリなども高値で取引されました。

低木類についても、県内出荷数量が減少気味で、植木市の出荷数量が減少していることもあり、樹種によっては買参人の引き合いはありました。しかし、秋口に例年であれば需要が増加するオタフクナンテン、サツキが、買参人の引き合いは前年と比較すれば弱含みで安価な販売が続いている状況でした。

しかしながら、ここ数年夏場の高温、水不足による地元奈良県内の低木類の成長が鈍化する状況で、又、樹種によっては葉焼けなどもあり戻らない状況でもあり、品評会出展にも大きな影響を及ぼしています。

ここ数年コスヤシ、アガベ、ソテツ等のロックガーデンの人気に伴い、少量ではあるが注文、セリ販売が増えてきた状況でありましたが、コスヤシは他市場安価な販売であるため、当組合の販売も買参人様の引き合いが弱含みな傾向になってきています。

相対販売では一昨年と同様に公共の植栽工事等の大きな物件が減少したままの状況で推移して、高木、中木や庭園樹などの需要も鈍い状況ではありました。

しかし、民間の植栽工事等、徐々に増えてきている状況であります。植栽工事自体が少なく、良品を低価格でありながら全国的に品薄状態となった樹木も多くなっている状況で、生産者にとっても買参人にとっても厳しい状況が続いています。

全体的に植栽工事が減る中で、葉刈りの仕事が多くなり客足も遠のくような流れになっています。

更に原油価格高騰等の影響で生産資材の価格高騰が顕著で、植木生産も例外ではなく、生産量や在庫等にも影響がありました。

また年々生産者数が減っています。当組合も県内を巡回させていただいて深刻だなど実感しています。理由としては生産資材が高騰にしているにもかかわらず、植木自体の単価が低迷していることや、後継者不足などの声が多かったです。それに伴い生産量も上

がってこず全国的に品薄という商品が多くなってきたおり、今後もそういった商品が増えていくと考えられます。

昨今、異常気象による高温に伴い、自然災害や環境劣化は身近なところのみならず、今や地球規模で頻発しております。環境劣化を防止し回復する手立てとして、今こそ緑の効果と造園による自然環境への取組の力を発揮し駆使していく必要があるのではないのでしょうか。

第一営業課 参与 森川 勝彦

## 令和8年主要行事予定

### 1. 行事

花き植木農協組合長表彰及び各種品評会表彰式  
第55回通常総代会 5月26日(火)  
第18回大和路花と緑のフェスティバル 10月上旬

### 2. 初市・止市

切花 1月 5日(月)・12月25日(金)  
鉢花 1月 8日(木)・12月24日(木)  
植木 1月20日(火)・12月15日(火)

### 3. 大市

春の植木大市 3月17日(火)  
中元贈答用鉢花大市 6月25日(木)  
秋の鉢花大市 11月 5日(木)  
秋の植木大市 11月17日(火)  
歳暮贈答用鉢花大市 11月26日(木)

### 4. 品評会

令和7年度鉢花第3回大口品評会 3月18日(水)  
令和8年度鉢花第1回大口品評会 5月13日(水)  
令和8年度鉢花第2回大口品評会 11月18日(水)  
令和8年度植木品評会 11月 4日(水)  
～11月17日(火)  
令和8年度花き植木立毛品評会(鉢花) 9月 1日(火)  
～10月31日(土)  
春日大社・奈良県切花品評会 予定 9月29日(火)

### 5. 仕事はじめ・おさめ

令和8年1月8日(木)・12月28日(月)



## 品評会の報告

### 品評会の報告

令和7年度奈良県花き植木品評会  
総出品点数

植木 11点  
花き植木立毛（鉢花） 12点  
切花 68点  
鉢花（第一回） 27点  
鉢花（第二回） 28点

#### 【植木品評会】

（令和7年11月14日）

（※以下敬称略）

・農林水産省農産局長賞  
大和郡山市 堀口充弘 オタフク南天  
・奈良県知事賞  
五條市 森田浩司 台杉  
・日本植木協会会長賞  
五條市 西本卓央 台杉  
・近畿花き振興協議会長賞  
五條市 森田浩司 台杉  
・奈良県造園業協同組合理事長賞  
大和郡山市 三橋正和 マホニアコンフーサ  
・奈良県花き植木農協組合会長賞  
大和郡山市 佐野正和 フイリフェラオーレア  
・金賞  
西谷栄治  
・銀賞  
佐野正和  
・銅賞  
三橋正和

#### 【花き植木立毛品評会（切花）】

（令和7年8月26日）

・農林水産大臣賞  
平群町 植田育弘 小菊  
・近畿農政局長賞  
平群町 米田竜祐 小菊  
・奈良県知事賞  
平群町 植山勝 小菊  
・奈良県議会議長賞  
平群町 大西一彰 小菊

・日本花き生産協会会長賞  
平群町 石田真規 小菊  
・近畿花き振興協議会長賞  
平群町 堅川良太 小菊  
・奈良県花き植木農協組合会長賞  
平群町 西野日出男 小菊  
・金賞  
中尾諭史

・銀賞  
城守

・銅賞  
向井龍太郎  
高松智郎

#### 【春日大社・奈良県切花品評会】

（令和7年10月14日）

・農林水産省農産局長賞  
平群町 米田竜祐 小菊  
・奈良県知事賞  
宇陀市 榎原 岡本信代 ダリア  
・奈良県議会議長賞  
平群町 向井龍太郎 小菊  
・春日大社宮司賞  
宇陀市 福田遵裕 ダリア  
・華道春日流総裁賞  
平群町 上田 剛 小菊  
・春日大社萬葉植物園園長賞  
下市町 岡本訓和 小菊  
・日本花き生産協会会長賞  
平群町 北川晃生 小菊  
・奈良県花き植木農協同組合会長賞  
平群町 姓本弘子 入オラン  
・奈良県切花協議会長賞  
下市町 梅本悦子 バラ  
・金賞  
岡本信代 岡本訓和 北川拓海  
・銀賞  
岡本 清 上田紀穂 上田沙耶佳  
姓本弘子 亀井里奈子

・銅賞  
岡本 清 梅本清嗣 福田遵裕  
姓本弘子 宮田典子 向井志歩  
中野富夫 城守 岡田雄太

#### 【第一回鉢花大口品評会】

（令和7年5月14日）

・金賞

・銀賞  
榎原市 吉田宗義 ジニア

・銅賞  
葛城市 岡本康宏 日々草  
明日香村 平井一広 ペンタス  
榎原市 安田忠司 ケイトウ  
榎原市 吉田宗義 ベゴニア

・銅賞  
榎原市 安田忠司 マリーゴールド

#### 【第二回鉢花大口品評会】

（令和7年11月19日）

・金賞

・銀賞  
明日香村 平井一広 シクラメン

・銅賞  
明日香村 平井一広 シクラメン

・銀賞  
明日香村 堀内国洋 パンジー  
榎原市 藤井一生 パンジー

・銅賞  
宇陀市 笹岡美喜子 ピオラ  
明日香村 平井 茂 ガーデンシクラメン